

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 901

政策体系	22	事業分類	施設管理費	所管部局	上下水道部 下水道課
会計	下水道特会	科目	1. 総務費 - 1. 総務管 - 3. 特定環 現年		
事業名	特環施設管理費				
細事業名	特環施設管理費				
				評価表作成者	上下水道部 下水道課 早川 忠

1. 事業の概要

下水道施設の適正な維持管理により、現有施設を良好な状態に保ち、長期間にわたる有効活用を図る。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

下水道施設の適正な維持管理により、現有施設を良好な状態に保ち、長期間にわたる有効活用を図る。

② 事業を実施する必要性

市民の衛生的で快適な暮らしを確保し、また環境を保全するため、特定環境保全公共下水道施設の維持管理を行う。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	99,462	94,667	112,659	99,371	107,087	129,264	134,014
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	99,462	95,356	105,431	99,371	107,087	0	0
国・府支出金	千円	0	0	7,228	0	0	10,000	12,000
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	-689	0	0	0	119,264	122,014
職員等の従事人員	人/年	—	1.50	1.30	1.30			
人件費	千円	—	9,194	9,112	9,657			
事業費総額	千円	—	103,861	121,771	109,028			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

光熱水費	23,020千円
修繕費	4,548千円
施設管理委託料（処理場管理費）	27,482千円
マンホールポンプ管理委託料	13,651千円
汚泥処理費	10,041千円
水質検査料	1,119千円
検針調定業務委託料	1,592千円
工事請負費	2,494千円
受託工事費	4,738千円

5. 事業結果の概要

快適な生活環境と安全・安心な維持管理の実現。
 処理場5箇所での維持管理
 マンホールポンプ111箇所での維持管理
 処理人口 6,870（人）水洗化人口5,782（人）

6. 活動の詳細

殿田浄化センター・胡麻浄化センター施設見学。 小学校4年生の社会科授業の一環として、処理場の 見学を行った。	6月	自分たちが流した水がどの ようにして浄化をして川に 流れていくのかを学んだ。 計48名
--	----	--

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

平成21年度から処理場及びマンホールポンプ場の維持管理について、長期継続契約により業務委託を実施しコスト削減を図ると共に、異常時における対応も敏速に実施し住民サービスの向上に努めてきた。
今後も、施設の計画的な維持管理を行いコスト削減、施設機器類の延命、公共用水域の水質保全に努める。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

平成21年度から処理場及びマンホールポンプの維持管理について、包括的民間委託による複数年契約により機能維持・施設延命などコスト低減を図ると共に、故障時の即座の対応も含め住民サービスの向上に努めてきた。今後も、計画的・予防的維持管理を継続実施していくと共に、特に更新に多額の費用を要するマンホールポンプ施設については、適切かつ有効な保守点検業務を実施することにより、施設延命につなげコスト削減に努める。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
維持管理経費の軽減について協議し、平成21年度からマンホールポンプ等維持管理契約について複数年契約とした。
- ②当該事業のアピール事項
施設の機能を発揮するためには、日常の適正な維持管理が必要であり、専門知識と機動力をもった維持管理業者に施設管理を委託し公共水域の保全に努めている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
住民の使用料負担に応える能率的な下水道経営を図るため、事業の効率化・所要経費等の削減に努める。